

大潮



千葉県助産師会

第30号 令和元年12月

1. 会長あいさつ

(一社)千葉県助産師会 会長 武田 智子 4地区 八千代マタニティセンター武田助産院

日一日と寒さが身に染みるような季節となってきました。会員の皆様におかれましては風邪などに罹患しない体調管理を行い妊産婦さんたちに常に笑顔で接していただけることを期待します。

さて、この度の台風15号が千葉県に上陸したことによる被災は、電信柱、家屋の破壊等、想像を絶するものでした。助産師会としても災害対策委員会を中心に災害対策本部を立ち上げ、被災者を収容する助産所の確保に努めました。しかし、本部の解散を宣言した翌日に台風19号がさらに襲い、また記録的大雨に遭遇するというかつて経験したことのない自然災害が起こりました。台風15号の対応に引き続き助産所等の確保に努め、被災状況の確認は、災害対策委員会が中心となり、各地区の情報(警戒レベル等)をSNSによって早めに受け取ることができました。また、TVからの情報で停電が続く房総地区の助産所の確認ができたことは安心しました。この度の災害に対して近隣助産師会、個人、企業から多数の声掛けをいただき、大変うれしく皆様から支えられていることを痛感致しました。今回の対応について反省点がいろいろありますが、この経験を生かし、母子が安心できる災害対策を進めていきたいと思っております。

「生と性の健康教育特別委員会」からニュースレターが2回配信されました。それぞれの地区の精鋭たちが話し合い作成しました。講座の基本、内容等を押さえて理解しやすいので十分に活用できるかと思っております。基本を学び取ってください。また、会員の皆様からのいろいろなご意見を伺えればと思っております。メールinfoにて送付してください。お待ちしております。



第40回 九都市合同防災訓練にて
左から2人目：武田会長



CONTENTS		
1. 会長あいさつ	1
2. 災害対策委員会	2-3
3. 子育て委員会	3-4
4. 教育委員会	4
5. 部会活動報告	5-6
6. 国際助産師の日	7
7. 研修・理事会のお知らせ	8



2. 災害対策委員会

災害対策委員長 島森 孝恵 5地区 sora-いんぐ出張専門助産院しまり

<令和元年台風15号、19号、豪雨災害の経験から思うこと>

今年の9月10月は、これまでの「災害対策」概念を覆され、ただただ課題が顕わになった2ヶ月でした。災害対策委員会では、これまで「震災」に関する対策を講じていたため、それとは違う台風大雨災害に戸惑うことも多々ありました。災害対策本部の立ち上げに関して戸惑ったのも事実です。その時その時の情報収集は必須でした。そのような中、これまでの震災訓練で培われた①安否確認②被害状況確認③災害対策委員内での情報共有から各地区会員への情報提供に関してはスムーズに行うことができ、訓練の大切さを身にしみて感じたところです。

まだまだ設置が少ないことは気になりますが、今回被害の大きかった南房総市と鴨川市と君津市では母子福祉避難所が立ち上がりました。被災地域の母子福祉避難所等で献身的な支援を続けてくださった会員の方々に感謝せずにはいられません。また、「受入可能助産院」として名乗りを上げていただいた助産院をはじめ、ご協力いただいた会員の皆様全員に改めて感謝申し上げたいと思います。沢山の課題が明らかになっております。災害対策委員会は今後も研鑽して参ります。引き続き会員皆様のご協力の程よろしくお願ひ致します。

《改善したこと》

- ・台風(風雨)災害時の災害対策本部の立ち上げ時期について。
- ・地区災害対策委員と地区理事は、常に情報共有しておく。
- ・支援(ボランティア活動含む)へ行く時の報告、また活動後の報告書提出の徹底。

《課題》 *理事と共に解決を目指すものも含む

- ・打ち出した支援を、一般に広報するための手段を考える。(テレビ、ラジオ、SNS等)
- ・災害時対応ができる千葉県助産師会HPの改善をする。
- ・協定市と詳細な動きの確認をする。・協定市以外の市町村へ、非常時に助産師会を安心して支援側に入れてもらえるようなアプローチ手段を考える。(母子福祉避難所設置の勧奨含む)
- ・災害時、協定市以外の市町村に支援ができる旨の文書がスムーズに送れるように、住所・TEL・FAX 番号の再確認を行う。
- ・会員がいない地域の情報収集方法について考える。
- ・災害時支援を行うときは、自分の支援可能な範囲で行うことの徹底を周知する。

《ご報告》※一般社団法人埼玉県助産師会様より、支援協力の申し出文書をいただきました。

※公益社団法人神奈川県助産師会様より、支援金をいただきました。



第40回 九都県市合同防災訓練 in 千葉県

2019.9.1 (日)

防災フェア：千葉県助産師会は、物資が少ない中での工夫！体験を通して伝えました！





3. 子育て委員会

子育て委員会委員長 来田 美鈴 2地区 すず助産院

<様々な問題に対応できる質の高い電話相談事業をめざして>

今年度、子育て委員会では、パルシステムの助成金を活用し、2回の研修会&事例検討会の開催と電話相談対応マニュアル制作に取り組んでおります。

第1回研修会&事例検討会は、浦安市にて、7月14日に【性暴力被害者支援を学ぶ】&【対応に苦慮した電話相談】をテーマに開催しました。午前中の研修会には、助産師以外の他職種を含めた40名の、午後の事例検討会には27名の千葉県助産師会会員のご参加があり、子育て委員会としては、これまでにない多くの方にご参加頂き大変うれしく思います。研修会講師には、千葉性暴力被害者支援センターちさとの佐藤浩子先生をお招きし、子どもの性虐待を含めた性暴力の悲惨な現状と、被害者への初期対応やその後の心のケアの重要性など、大変学びの多い研修会となりました。参加者からのアンケートでは、まずは私達支援者が性暴力というものを正しく理解し、意識を変えていく必要があるという意見が数多く寄せられました。この研修会をきっかけに、今後、性暴力の被害者支援に向けて、千葉県助産師会と千葉性暴力被害者支援センターちさとや行政との連携が図られることを願います。午後の事例検討会は、電話相談に繰り返しかけてくるリピーターへの対応や、家族にDV、薬物依存者がいる環境での子育ての相談など、対応に苦慮している事例を挙げて話をしました。電話相談の中で、なかなか電話が切れないケースや、こちらからの回答に対して、逆に憤慨されて心が折れたケース、相談内容があまりにも複雑で、どう対応していいかわからず、自分の無力感を感じたケースなど、協力員の方々の本音トークが次々と出てきて、苦労を分かちあえる事例検討会となりました。

第2回研修会&事例検討会は、11月23日に【児童虐待事例から学ぶ子育て支援】をテーマに開催致します。講師には、こどもの虐待死事件を数多く取材執筆されているルポライターの杉山春先生です。この研修会には、児童相談所、児童養護施設、教育機関、保育施設、民間子育て支援団体など、様々な立場で子ども支援に関わる方々からの参加申し込みがきております。次号の大潮では、この研修会のご報告をさせていただきます。『電話相談対応マニュアル制作』は、子育て委員や会長副会長を含めたマニュアル編集チームを作り、作成に向けて活動しています。今年度末には、千葉県助産師会『助産師の電話無料相談対応マニュアル』が完成、配布の予定としておりますので、楽しみにお待ちください。また今年度は、台風15号・19号・21号に関連した度重なる豪雨による大きな災害を経験しました。協力員の方の中には、ご自分の生活がままならない状況の中でも、きちんと電話お当番を担当して頂き、心から感謝しております。本当にありがとうございました。



今後は、災害時にこそ、この電話相談が子育て女性支援事業としてお役に立てるよう、より一層の周知活動と地域連携を深めていきたいと思っております。

4. 教育委員会

教育委員会委員長 東 亜紀 2地区 秀明大学

【研修会報告】

今年度最初の研修会「性の健康教育セミナー」は、7月21日(日)に開催され、18名の参加がありました。①国際医療研究センター国府台病院心療内科診療内科診療科長、千葉県摂食障害支援センター員である河合啓介先生により「摂食障害(拒食症・過食症)の正しい知識と支援」について、②東京保健医療大学教授である渡会陸子先生には「地域・行政・学校が連携する性教育」及び「地域ニーズの把握」についてご講義いただきました。摂食障害は、疫学的に実態の把握は難しく、患者の低年齢化、高齢化が問題視されています。現在、摂食障害は、患者に対する治療や支援方法の確立や生命の危険を伴う身体合併症の治療や栄養管理等を行うなど、患者が地域で支障なく安心して暮らすことができる体制の整備を推進することが求められています。河合先生の講義では、学校や地域で活動する助産師が摂食障害について正しい知識と対応を学ぶことで、多職種連携によるカバーができるかと改めて考える機会になりました。



千葉県助産師会では多くの助産師が小中高校生を対象に健康教育活動をしています。性の健康教育は、社会環境の変化に伴い、これまで以上に学校・家庭・地域が相互に連携・協力しながら、社会全体で子供の成長をしっかりと支えていくことが求められています。渡会先生の講義は、地域・行政・学校が連携する性教育の実践や方法としての地域ニーズの把握であり、私たち助産師の活動をより良いものにしていくヒントが沢山ありました。

9月1日(日)は「J-MELS ベーシックコース」と「NCPRS コース」が開催されました。J-MELS ベーシックコースは日本母体救命システム普及委員会が主催している「母体急変時の初期対応」を学ぶことができるコースで、今年で2度目の開催でした。日本では、約50例年の妊産婦死亡があります。死亡例には、ハイリスクであると認識されていない妊婦も多く含まれていることが特徴です。母体の急変を早期発見し適切な蘇生処置を行い適切なタイミングで高次医療施設へ搬送することを目指し、シミュレーションを通して学びました。

一方、2015年度より資格更新のためNCPRSコースは受講が必須になりました。こちらは、参加者が7名と少数でした。このコースは、講義、手技実習、シナリオ実習で構成されており、実習に多くの時間が設定されている復習コースです。蘇生技術の質の維持のため、期限切れ前の受講だけではなく多くの参加者が集まる研修会の開催を検討していきたいと思っております。



5. 部会活動報告

保健指導部会長 川田 まゆみ 3地区 船橋市保健所地域保健課

保健指導部会長 川田まゆみ保健指導部会では、9月22日に千葉大学医学部附属病院アレルギーセンター長で小児病態学教授下条直樹先生から 小児のアレルギー疾患の最新情報を、続いて、小児アレルギーエドゥケーターで助産師の河崎育子先生から、アレルギー予防の具体的な対応について話をさせていただきました。講師依頼をしたところ、助産師の皆さんにぜひ話がしたい、妊娠中からアレルギー発症を予防していくために一緒に頑張りましょうとメールをいただきました。「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」で検索していただくと最新の情報が得られますので参考にしてください。以前は制限することがよとされていたことが、研究結果からそうではなかったということがあります。しっかりとアンテナを立て、最新の情報を得ていきましょう。今年度も母乳育児支援に関する安全評価をしていただき、ご協力ありがとうございました。

助産師部会長 根岸 雄子 9地区 助産所部会助産院ねむねむ

私の住む房州は、先日の台風15号、それに追い打ちをかける台風19号で大変な被害を受けました。市が開設した母子避難所には、乳幼児を抱えたご家族や妊婦さんが利用され、地区の助産師がボランティアで沐浴・見守りなどの支援を行ないました。幸い我が家に家屋の被害はなかったものの、停電でお産待機の方との連絡の取り辛さがあり怒涛の日々でした。そのような状況であるにも関わらず、無事に出産を迎えられたご家族が望んだ以上のお産であったことは、赤ちゃんの生まれる力に支えられていると感じずにはいられません。また、災害時受け入れ協力助産院として、ご対応いただいた会員の皆様に大変感謝しております。

さて、9月27日(金)佐久間講師・賀来講師による「先輩助産師からの技と知恵の継承」～お産といのちをつなぐ～をテーマに座談会が開催されました。佐久間講師からは、安産に向けて妊婦自らができる「歩く・冷え取り(高炭酸濃度の足浴)・おしり歩き・ペットボトルの温マッサージ」などの知恵と技。賀来講師からは「お産は業務ではいけない。3世代を診て、お産・子育てを見守る」「産道(参道)を汚す洋菓子類を摂らない。小豆ご飯を月に2回食す」などの母胎を温める生活の知恵などのお話頂きました。今回、先輩助産師の数々の経験談は、ビデオに録画にさせて頂きました。次代を担う助産師に生かして頂ければと考えています。



本年度の目標、CLoCMiP®レベルⅢ認証取得に向けた研修会の開催&会員同士の交流を目的に、9月22日、保健指導部会と合同研修会を開催しました。勤務部会は、講師 御手洗幸子氏(NTT 東関東病院・遺伝看護専門看護師)を招聘し「出生前診断に関心のある女性および家族へのケア」を担当しました。講演は、新型出生前検査をめぐる国内の動き、遺伝に関する基礎知識、検査を希望する女性やカップルの「なぜ調べたいのか?」を明確にしていく作業の大切さ、つわりの最中の思考の限界等にわたり、この知識は万民が知っていなければならないことであり、その一番の窓口になるのが助産師であることを改めて学びなおす機会となりました。また、ランチンセミナーでは施設で実施する「産後ケア」の現状と課題について岸本優子氏(山口病院)が話題提供し情報交換の機会を得ました。次回の研修会は12月8日(土)に予定しています。テーマは「NCPR スキルアップコース」「子宮収縮剤の使用と管理」「胎児心拍数陣痛図～波形パターンの判読と注意点～」です。ご希望の方は早めにお申し込みください。

また、日本助産師会 勤務助産師部会が編集した冊子「妊娠中の標準的な健康教育-私もできる!!助産師がお母さんに伝えたいポイント-」を20冊いただきました(右下)。妊娠期の健康教育の標準化を目指して作成されたものです。ご希望がありましたら、送料370円(レターパック)でお送りします。下記メールに件名に「助産師会冊子希望」とし、①郵便番号・住所 ②お名前 ③所属施設 ④希望部数(1施設2冊まで)でお知らせください。送料は自己負担、会員限定・先着20名で締め切らせていただきます。 清水メール kshimizu@ju.ac.jp



御手洗幸子氏



岸本優子氏



東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

Sleeping seminar

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

研究会や勉強会、学会でのコーヒーサービスもご提供しています。



東洋羽毛北関東販売(株)千葉営業所
〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8

～お気軽にお問い合わせください～

0120-006745



6. 国際助産師の日

第18回「国際助産師の日」 地区長 石毛 光代 6地区 増田産婦人科

<第18回「国際助産師の日」実行委員会 テーマ「地域で支えよう 愛を伝える子育て」>

第18回「国際助産師の日」のイベントは2020年5月24日(日)です。担当は6・8地区です。当地区は、6地区13市町(銚子市・旭市・匝瑳市・横芝光町・芝山町・東庄町・東金市・山武市・多古町・神崎町・香取市・大網白里市・九十九里町)、8地区11市町村(茂原市・白子町・長生村・一言町・長南町・陸沢町・勝浦市・いすみ市・大多喜町・御宿町・長柄町)で構成されています。皆様の地区同様、核家族や働く母親や外国人親子など様々な子育て期の家族が生活されています。イベントでは、このような家族・プレママパパたちに思春期など様々な時期にある地域住民の方々や母子保健推進員も含めた母子支援のスタッフが、交流し考え癒される機会にしたいと計画中です。会場は城西国際大学東金キャンパス。大学には看護学部助産師課程ほか福祉学部等も充実しており、教育と地域貢献に尽力しています。当地区でも2年前より大学祭へ参加し刺激を受けています。アクセスは、東金線東金駅徒歩5分、お車利用の場合無料駐車場がございます。国際色豊かで緑溢れるキャンパスにどうぞお越しください。清水清美実行委員長はじめ会員一同でお待ちしております。最後に、皆様のご意見、ご提案、イベント当日のご協力などお力添えいただけますようよろしくお願い申し上げます。



CAC*Happy*Maternity



赤ちゃんを迎える前の
しあわせな時間を一緒にしましょう

胎教に向けてマタコロとクラブのママも
専門のスタッフと胎教師が参加サポート。
ママとベビーのプログラムも
充実しているので是非参加を!!
胎教はママとベビーのコミュニケーションを促します

CACスポーツクラブ 047(476)2711

胎教講師4名・産後ケアあり



マタコロマタコロマタコロマタコロ
100:12:00~13:30



マタコロマタコロマタコロ
マタコロマタコロマタコロ
100:12:00~13:30



マタコロマタコロ
100:12:00~13:30

離乳食 問題解決 コレ1本

国内産 無添加

パラパラベビーのり

商標登録第 6181089 号

中川海苔店

<https://www.nakagawamori.com>



この笑顔のために...



お知らせ



1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ（<http://www.midwife-chiba.org>）にてご確認ください。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
令和元年12月～令和2年3月まで、研修はありません。				

2. 理事会

	開催日	時間	場所
第6回	令和2年2月2日（日）	9:30～12:30	千葉市民会館
第7回	令和2年3月22日（日）	9:30～12:30	千葉市民会館

3. NEWS

○菜の花会のご案内

令和2年2月2日（日）13:30開始 於：川の音

○令和2年度 一般社団法人千葉県助産師会 総会日程のご案内

令和2年4月26日（日） 於：千葉市文化センター

○助産師の電話無料相談（ミッドワイフ千葉）令和2年度協力員募集！

○次年度助産師会会費納入の自動引き落としは、2月下旬です！

引き落とし口座の残高不足がないよう、よろしく願いいたします。

※口座振替手続きがお済みになっていない方は、口座振替に是非ご協力下さい。

4. メーリングリストについて

- ・氏名や住所の変更があった場合は速やかに変更手続きをお願いいたします。
- ・メーリングリストに登録すると助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。
- ・メーリングリスト登録は、地区理事にお伝えください。地区理事→総務会員担当→登録、となります。

編集後記

千葉県は2度の台風上陸により甚大な被害を受け被災しました。厳しい状況の中、大潮30号の執筆や写真の提供にご協力頂いた方々へ感謝申し上げます。個人的に被災地域へ母子支援のお手伝いに行く機会があり、電車の南下に連れ被害の大きさに驚嘆いたしました。また、不眠不休で母子や家族に寄り添う助産師の慈愛の姿を目の当たりにし感無量でした。また、現場を直視できること、正確な情報を得ること、皆様の思いを伝えられること等広報委員の役割を考える貴重な経験をさせていただきました。会員皆様から心待ちしていただける大潮発行目指し頑張りますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。一日も早い復興を祈りつつ。

広報委員：鈴木香里・佐藤静子・美濃口真由美・山本裕子